

令和2(2020)年度

事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和2(2020)年度 事業報告書

本協会は平成 25(2013)年 3 月、

長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」と

- 1 外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進
 - 2 協働による多文化共生のまちづくり
 - 3 多文化共生の担い手育成
- の 3 つのミッションを定めている。

平成 28(2016)年から 5 か年の中期計画、最終年度となる令和 2(2020)年度は、

- 1 外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援
 - 2 地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり
 - 3 担い手としてのグローバル人材の育成
- の 3 つの柱に基づき事業を実施した。

本協会は、設立 30 周年を迎え、これまでの活動を取りまとめた「KIA30 周年記念誌」を発刊したが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が、福岡県で2度発令されたことにより外国人相談や日本語教室、各種のイベント開催は一部中止、縮小を余儀なくされた。

なかでも緊急事態宣言期間中(2020.4.7~5.31、2021.1.14~2.28)は、外国人相談窓口は電話やメールによる対応を原則とし、医療通訳や行政通訳の派遣を一時休止した。

日本語教室や国際理解教育講座はオンライン環境が整うまで延期・休止とし、対面方式の再開後は定員減などの感染症対策を講じて開催した。

また、協会内の交流スペースや図書コーナーは閉鎖したほか、在宅勤務や時差出勤を敢行し、出勤者数を調整した。

執務室や会議室、交流スペースは常に消毒を行い、アクリル板や空気清浄機を設置し、来場者には検温、手指の消毒やマスク着用を理解を求め、可能な限り事業実施に努めた。

1 外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進

(1)外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援

ア 多言語による生活情報の提供

(ア)外国人市民への情報提供

相談窓口紹介パンフレットやイベント情報など、協会が作成する印刷物・お知らせを、英語・中国語・韓国語・ベトナム語など多言語で作成し、外国人市民へのわかりやすい情報提供に努めた。

(イ)ホームページ等による広報

日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行った。

フェイスブックやインスタグラムの活用にも積極的に取り組んだ。

*ホームページアクセス件数

日本語 23,987 件、英語 2,334 件、中国語 1,331 件、韓国語 774 件、
ベトナム語 1,182 件、やさしい日本語 2,016 件 合計 31,624 件

イ 外国人相談

(ア)北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの一般相談

八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語による外国人相談及び情報提供を行った。加えて、新たに日本語コーディネーターによる「地域日本語教育相談窓口」を設置した。

相談者数：1,089人 相談件数：1,201件

○多文化ソーシャルワーカーによる相談対応

昨年度に引き続き、社会福祉士レベルの資格と外国人支援に関する知識や経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を配置し、外国人と必要な関係機関を繋ぐなど長期的なフォローを行った。

○多言語通訳システムの導入

相談員による対応に加え、タブレット端末や電話通訳を利用した多言語通訳システム(21言語対応)を導入した。

(イ)専門家相談

協会の外国語相談員や職員では対応できない専門的な分野について、必要に応じて通訳が同席する専門相談を実施した。

○行政書士による「入国・在留・ビザ手続きの相談会」	1回/月	相談件数：38件
○弁護士による「法律相談」	1回/月	相談件数：10件
○臨床心理士による「心理カウンセリング」		相談件数：0件

ウ コミュニケーション支援

(ア)市窓口等における電話通訳

区役所や市立小・中学校等北九州市の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民とのコミュニケーションを円滑に行うため、外国語相談員による三者通話等を活用した電話通訳サービスを実施した。

対応言語：日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タガログ語・ネパール語・タイ語・インドネシア語・マレー語・モンゴル語・クメール語・ミャンマー語・ヒンディー語・シンハラ語・ロシア語・ポルトガル語・スペイン語・フランス語・イタリア語・ドイツ語 21言語

対応日時：月曜～金曜日 9:30～16:00

(イ)行政通訳派遣

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校、子育て支援機関等からの要請により通訳者を派遣した。(4～8月はボランティア派遣を停止)

○行政通訳業務(市の委託事業)

派遣件数：143件 派遣人数：22人

言語：中国語 47件、英語 54件、ベトナム語 31件、タガログ語 4件、インドネシア語 1件、韓国語 2件、ネパール語 3件、スペイン語 1件

内容：子育て支援(子ども関係)：51件、子育て支援(母関係)46件、区役所市役所関係：35件、その他公的機関：11件

○多言語ママパパサポーター派遣(市の委託事業)

派遣件数:2件 派遣人数:2人

言語:中国語1人、ベトナム語1人

内容:子育て支援機関2件

○受託外派遣

派遣件数:1件(水巻町) 派遣者人:1人

言語:タイ語

(ウ)医療通訳派遣

外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼により有料で通訳者を派遣した。

(4~10月、1~2月はボランティア派遣を停止)

派遣件数:2件 派遣人数:2人(中国語2人) 診療科:内科 2件

エ 日本語教室の運営

(ア)外国人子ども支援

外国につながるのある児童生徒を対象に、学習支援を実施した。

○放課後にほんごひろば

【黒崎】

開催場所:協会交流スペース

開催期間:9月19日~12月26日 毎週土曜日 10:00-11:30

開催回数:13回

参加者延べ人数:55人(児童生徒50人、保護者5人)

ボランティア延べ人数:54人

参加者の国籍:中国、モンゴル、フィリピン

【小倉】

開催場所:小倉中央市民センター

開催期間:9月15日~12月8日 毎週火曜日 16:00-17:30

開催回数:4回

参加延べ人数:39人(児童生徒20人、保護者19人)

ボランティア延べ人数:7人

参加者の国籍:中国・イギリス

○夏休みオンライン勉強会

開催期間:8月6日(木)~8日(土) 13:30-15:00

開催回数:3回

参加延べ人数:26人(児童生徒)

ボランティア延べ人数:9人

参加者の国籍:中国・モンゴル・マレーシア

○オンラインによる個別学習支援

開催期間:6月6日～10月22日 曜日・時間は不定期

開催回数:124回開催

参加延べ人数:124人

参加者の国籍:中国・モンゴル・ベトナム・フィリピン

(イ)外国人生活者支援

地域で暮らす外国人を対象に、日本語の習得と生活情報の提供を目的として「ママとパパのための日本語教室」をオンライン方式及びオンラインと対面の混合方式で実施した。

○ママとパパのためのにほんご教室(初級…生活の中で必要になる初級文法や語彙を会話中心)

【黒崎】

開催場所:協会交流スペース(オンラインと対面を併用した方式)

開催期間:5月20日～3月18日 毎週木曜日 10:30-12:00

開催回数:39回

参加延べ人数:255人

参加者の国籍:アメリカ、ベトナム、中国、スリランカ、韓国、パラグアイ、パレスチナ、パキスタン、イギリス、フィリピン、シンガポール

【小倉】

開催場所:子育てふれあい交流プラザ(オンライン方式)

開催期間:5月21日～3月19日 毎週金曜日 10:30-12:00

開催回数:39回

参加延べ人数:191人

参加者の国籍:アメリカ、中国、モンゴル、イラン、ベトナム、フィリピン

○ママとパパのためのにほんご教室(上級…生活語彙、漢字や敬語)

【黒崎】

開催場所:協会交流スペース(オンライン方式)

開催期間:6月4日～3月18日 毎週木曜日 16:15-17:30

開催回数:37回

参加延べ人数:75人

参加者の国籍:中国、ネパール

【小倉】

開催場所:子育てふれあい交流プラザ(オンライン方式)

開催期間:8月21日～3月19日 毎週金曜日 13:00-14:30

開催回数:28回

参加延べ人数:101人

参加者の国籍:アメリカ、中国

(ウ)中上級のための日本語教室

人材育成を図るため、主に就労者向けに中上級の日本語を指導する教室を開催した。

開催場所:協会交流スペース・八幡西生涯学習センター

開催期間:8月8日～12月5日 毎週木・金・土曜日

開催回数:54回

参加延べ人数:220人

参加者の国籍:ベトナム、中国、シンガポール

オ 外国人との共生事業の実現に向けた環境整備事業(市の委託事業)

(ア)外国人市民へのお知らせ文や行政文書の翻訳(英・中・韓・ベトナム語・やさしい日本語)

(イ)行政職員のやさしい日本語を推進するため「やさしい日本語テキスト」を作成

(ウ)地域日本語教室のオンラインを推進するため、運営に携わるボランティアを対象に研修会を開催

研修名:「つながるひろがるにほんごでの暮らし」(オンライン方式)

講師:文化庁国語課専門職 北村祐人、聖心女子大学講師 中川美保

開催日:3月1日 受講者:9人

(2)外国人への防災支援(市の委託事業)

ア 外国人市民への防災研修(協会内交流スペース)

内容:火災時や急病時の対応、消防署への通話実習、消火器の使い方講習

講師:八幡西消防署予防課職員

開催日:1月21日 受講者:6人(市内在住の外国人市民)

イ 災害時通訳サポーターへのフォローアップ研修(オンライン方式)

内容:「災害時の外国人対応について」

講師:一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎

開催日:3月3日 受講者:22人(災害時通訳サポーター)

2 協働による多文化共生のまちづくり

(1)地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり

ア 国際交流団体との連携

(ア)北九州国際交流団体ネットワーク(キーネット加盟 60 団体)の事務局支援

総会 6月15日(書面開催)

役員会 年3回開催

研修会 3月6日(八幡西生涯学習総合センター) 32人参加

パネル展 11月10日～20日(ひとみらいプレイス) 15団体参加

(イ)民間団体の活動支援

国際化及び多文化共生に貢献している民間団体等の活動を表彰事業に推薦した。また、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行った。

○公益財団法人芳賀文化財団 ボランティア顕彰受賞: 小倉南日本語教室

○北九州市社会福祉協議会 社会福祉奉仕者の部受賞: しもそね日本語教室

○共催: 1件 後援: 4件

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域日本語教室の支援

市内の地域日本語教室との連携を密にして、各教室や地域における課題や問題点の把握に努め、必要な支援を行った。

○地域の日本語教室 13 団体に対し運営資金の一部を助成(59 万円)

○団体の代表者から現状や課題についてヒアリング

○オンライン方式実施に必要な Wifi ルーター、タブレットを貸与(2 教室)

○新型コロナウイルス感染症対策として教室開催に必要な消毒液やフェイスシールドを配布

○ボランティア向け研修会の開催

第 1 回 日本語教室オンライン研修

開催日:10 月 17 日 受講者:14 人

講師:NGO ふくしま日本語教室代表 宮野宏子

第 2 回 オンライン教室体験

開催日:12 月 19 日 受講者: 9 人

講師:ママとパパのためのにほんご教室学習者(10 人)が体験を語る

第 3 回 ベトナム人学習者を言語や習慣から理解する(オンライン方式)

開催日:1 月 23 日 受講者:13 人

講師:金沢大学教授 松田真希子

第 4 回 聞く協力で変わる学習者のことば(オンライン方式)

開催日:2 月 8 日 受講者:12 人

講師:文化庁委嘱日本語教育施策アドバイザー 深江新太郎

(イ) 第 11 回日本語おしゃべり発表会の開催

地域日本語教室と連携し、地域で学習する外国人市民のモチベーション強化、日本人市民への多文化共生啓発、地域日本語教室間の情報共有等を目的として発表会を開催した。

なお、発表は新型コロナウイルス感染症対策から、ビデオ撮影による審査方式に変更し、編集したのち記録用のDVDを作成し、参加者及び関係者に配布した。

発表者:16 人(中国 4 人、ベトナム 7 人、インド 1 人、モロッコ 1 人、インドネシア 1 人、韓国 1 人、フランス 1 人)

(2) 外国人支援機関と連携・協働した多文化共生の地域づくり

ア 北九州外国人支援関係機関連絡会議

地域の外国人支援機関との情報交換や事例研究を通じてネットワークを構築し、その成果を外国人相談や地域日本語教育の業務にフィードバックし、協会の外国人支援事業の充実を図った。

開催日: 9 月 18 日(八幡西生涯学習総合センター) 参加者 21 人

3 月 12 日(西日本総合展示場) 参加者 20 人

出席者:福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市(戸籍市民課、子育て支援課、区保健福祉課(地域保健係、いのちネットコーナー、子ども家庭相談コーナー))北九州市男女共同参画センター、協会外国語相談員等

(3)多文化共生の地域づくり

ア 国際理解教育の推進

(ア)異文化理解の推進

○英語で語る自分の国(開催回数:5回、参加延べ人数:107人)

6月27日	インド	20人(オンライン)
9月12日	ウクライナ	17人
10月24日	ウズベキスタン	27人
1月14日	フィリピン	28人
3月27日	ネパール	15人

○国際理解推進員による講座

「オンラインで異国(シンガポール)の文化にふれてみませんか？」

講師:国際理解推進員 スリラーム・ラジャラーム

開催日:5月28日 受講者7人

○国際交流員による講座(オンライン方式)

「オンラインで学ぼう 新型コロナと私たちの生活～韓国はどう変わったか」

講師:国際交流員 姜志守

開催日:7月17日 受講者23人

(イ)国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡よかトピア国際財団・北九州国際交流協会の協働事業として実施した。

【派遣した市内の学校及び講師】 7校 15人

【紹介した市内の団体及び講師】 1件 2人

(ウ)国際理解推進員派遣

小学校や市民センター等に国際理解推進員を派遣し、自国の文化等を紹介したり、参加者と交流することにより市民の異文化理解を促進した。

(派遣回数 4回 参加者 47人)

9月19日 吉田市民センター ふれあい子ども講座(10人)

10月31日 貫市民センター 貫なかよし講座(13人)

12月2日・9日 東田サマースクール(各日12人)

(エ)協会職員の講師派遣

(派遣回数 8回 参加者 219人)

8月28日 全国市町村国際文化研修所(40人)

「多文化ソーシャルワーカーの配置と役割」

9月15日 西南女学院大学(16人)

「グローバル社会と地域母子保健」

- 11月26日 福岡県弁護士会(10人)
「北九州在住外国人の現状と在留資格および支援制度について」
- 11月30日 仙台文化共生センター(7人)
「外国人相談事業と多文化ソーシャルワーカーの取り組みについて」
- 1月9日 日本公共通訳支援協会(87人)
「遠隔通訳フォーラム」(オンライン方式)
- 1月14日 周望学舎(17人)
「地域で暮らす外国人」
- 2月27日 やまなし医療通訳研究会(26人)
「遠隔通訳フォーラム」(オンライン方式)
- 3月13日 広島平和文化センター(16人)
「多文化共生社会における通訳ボランティアの役割」

イ 多文化共生啓発((ア)、(エ)、(オ)は市の委託事業)

(ア)フューチャーリーダーズ～未来へのファーストステップ～

八幡西生涯学習総合センター大会議室で、中・高校生を対象に北九州市に縁があり、世界で活躍する社会人から「グローバル人材になるために大切なこと」をテーマに講義を行った。

【第1回】開催日:12月27日(対面とオンラインのハイブリッド方式)

講師:(株)タカギ 社員 脇田克彦 プロテニス選手 野口莉央

受講者:中高生8人、一般10人 計18人

【第2回】開催日:1月17日(オンライン方式)

講師:北九州市職員 永原達朗 バリ島民族舞踊家 川崎麻愛

受講者:中高生8人、一般6人 計14人

【第3回】開催日:1月24日(オンライン方式)

講師:TOTO(株) 社員 山岸祐 (公財)国際交流協会 スリラーム・ラジャラーム

受講者:中高生6人、一般4人 計10人

【第4回】開催日:2月7日(オンライン方式)

講師:東京理科大学教授 米本浩一 元JICA海外協力隊員 浦越未来

受講者:中高生13人、一般6人 計19人

(イ)市民カレッジ「きたQ多文化共生塾」

開催日:全5回(1月13日、20日、2月3日、17日、24日)

会場:八幡西生涯学習総合センター 大会議室 受講者:延べ44人

第1回「多文化共生って何? &外国人インフォメーションセンターってどんなところ?」

第2回「国際交流員や国際協力のお仕事とは?」

第3回「ボランティアの先輩や留学生の話聞いて『やさしい日本語』で交流してみよう!」

第4回「北九州国際交流団体ネットワーク『キーネット』で活躍する人から話を聞いてみよう!」

第5回「日本語ボランティアと外国人学習者の話を聞いてみよう!」

(ウ)「ボランティアウィーク2020(ボランティア向けの研修会)」での講演

開催日:10月21日 会場:ウエルとばた 受講者:10人

講座:「ボランティアのためのやさしい日本語教室」 講師:日本語コーディネーター

(エ)ハイスクールミニキャンプ(オンライン方式)

高校生を対象に、複数の講師と英語でゲームや会話を楽しみながら多文化にふれる機会を提供した。

開催日:1月10日 参加者:10人

(オ)国際交流まつり～世界のママ&パパマルシェ～

ママパパ日本語教室参加者をはじめとした外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーを開催した。(「世界の料理」の紹介・出展は中止)

開催日:11月14日 出品国:4カ国 6ブース 来場者:約140人

※新型コロナウイルス感染症の影響から中止した事業

*「多文化共生わいわい祭り」

開催予定日:11月3日(日・祝) 予定会場:北九州YMCA(小倉北区)

*「Let's Talk」

外国人市民とゲームやおしゃべりを通して相互理解を深める交流会

ウ 多文化共生を推進する日本語教育人材の育成

市内・近郊の日本語教育有資格者を対象に、外国人受け入れ企業等へ日本語教師として派遣する人材を育成するための研修を実施した。

【第1回】開催日:8月22日(オンライン方式) 受講者:12人

内容:はたらくための日本語研修

講師:JICE 叶由紀子 三原加津子

【第2回】開催日:10月17日(オンライン方式) 受講者:15人

内容:初級から中級へのステップ・中級を目指す指導

講師:ABK日本語学校 亀山聡史

【第3回】開催日:1月16日(オンライン方式) 受講者:12人

内容:就労者のための日本語教育

講師:インカレックス株式会社 AYA(佐藤綾子)

3 多文化共生の担い手育成

(1)担い手としてのグローバル人材育成

ア 市民ボランティアへの参加促進

「コミュニティ通訳フォローアップ研修」を八幡西生涯学習総合センターの大会議室で開催し、行政通訳や医療通訳等への登録など協会事業を支えるボランティアへの参画を促進した。

【第1回】開催日:9月19日 受講者:11人

内容:通訳者のためのZOOM基礎研修

講師:(一社)ママトコロボ 理事 佐藤倫子

【第2回】開催日:9月25日(オンライン方式) 受講者:7人

内容:通訳者のためのZOOM基礎研修

講師:(一社)ママトコロボ 理事 佐藤倫子

- 【第3回】開催日:1月23日(オンライン方式) 受講者:29人
 内容:通訳技術(基本スキル)研修
 講師:NPO法人多言語社会リソースかながわ 理事 岩本弥生
- 【第4回】開催日:2月11日(オンライン方式) 受講者:12人
 内容:言語別通訳演習(英語)
 講師:NPO法人多言語社会リソースかながわ アビー・ニコラス・フリュー
- 【第5回】開催日:2月11日(オンライン方式) 受講者:6人
 内容:言語別通訳演習(中国語)
 講師:NPO法人多言語支援センターかながわ 星 雪梅
- 【第6回】開催日:2月11日(オンライン方式) 受講者:7人
 内容:言語別通訳演習(ベトナム語)
 講師:(一社)日本公共通訳支援協会 通訳ロールプレイ 飯田まどか

※協会ボランティア登録状況(2021年3月31日現在)

- 行政通訳ボランティア(登録:75人)
 - 言語内訳(重複あり):中国語 27人、英語 15人、韓国語 8人、ベトナム語 8人、インドネシア語 5人、タガログ語 3人、タイ語 6人、モンゴル語 2人、ネパール語 3人、ドイツ語 1人、ロシア語 1人
- 医療通訳スタッフ(登録:41人)
 - 言語内訳(重複あり):中国語 22人、英語 14人、韓国語 6人
- 多言語ママパパサポーター(登録:20人)
 - 言語内訳:中国語 12人、英語 4人、韓国語 4人
- 災害時通訳サポーター(登録61人)
 - 言語内訳(重複あり):中国語 24人、英語 14人、韓国語 6人、インドネシア語 4人、タガログ語 3人、タイ語 2人、ベトナム語 8人、ドイツ語 1人、ネパール語 1人、モンゴル語 2人、ロシア語 1人
- 専門家相談通訳ボランティア(登録:4人)
- ホストファミリーボランティア(登録:42家庭)
- にほんごひろばボランティア(登録10人)
- ママとパパのためのにほんご教室ボランティア(登録1人、その他1人)
- (新規)◎にほんごひろばオンラインクラス学生ボランティア(20人=研修中)

(2)市内在学留学生への支援と交流

ア 留学生への支援

(ア)留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

(イ)関原北九州大連友好基金事業

○大連市留学生奨学金

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市立大学大学院及び九州国際大学に通う留学生(2人)に、月額2万円を支給した。

○大連市大学生奨学金

大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者（令和元年度対象者 3 人、令和 2 年度対象者 3 人）に、月額 500 元を支給した。

(ウ)第 28 回留学生日本語弁論大会の開催

留学生の日本語学習の意欲増進と市民が留学生を理解する一助とするため、八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブ、NPO 法人北九州市国際文化交流協会の協賛を得て弁論大会を開催した。

なお、大会は新型コロナウイルス感染症対策から無観客とし、You Tube でライブ配信した。

開催日:12 月 13 日 場所:コムシティ 3 階 大会議室

発表者:11 人(中国 3 人、ベトナム 1 人、ネパール 4 人、スリランカ 1 人、インド 1 人、モンゴル 1 人)

イ 留学生等への支援(留学生等支援資金の活用)

(ア)市内進学者奨励金

北九州市留学生支援ネットワークに加入している日本語学校等の教育機関を卒業し、ネットワークに加入している教育機関に進学した、市内に住民登録を有する留学生(64 人)に 3 万円を支給した。

(イ)市内企業就職者奨励金

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職した、市内に住民登録を有する留学生(40 人)に 5 万円を支給した。

※新型コロナウイルス感染症の影響から中止した事業

*ホストファミリーの支援

ホストファミリーボランティア登録した 42 の家庭が、留学生と国際交流や異文化体験を行うためのホームビジットやバスツアー交流会

《 協会の広報活動 》

○北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報を掲載した(24 件)

○メールマガジンによる情報提供

月 2 回、協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信した。

(メールマガジン登録者数:545 人)

令和2(2020)年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

令和2(2020)年度

決算報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和2(2020)年度 貸借対照表

令和3(2021)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,719,710	8,369,988	△ 2,650,278
未収金	4,096,455	4,106,969	△ 10,514
前払費用	44,500	43,000	1,500
流動資産合計	9,860,665	12,519,957	△ 2,659,292
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	41,761,808	44,835,568	△ 3,073,760
外国人材活躍支援資金積立資産	10,000,000	5,000,000	5,000,000
特定資産合計	51,761,808	49,835,568	1,926,240
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	2,182,845	993,254	1,189,591
投資有価証券	18,927,800	19,415,400	△ 487,600
保証金	95,700	275,000	△ 179,300
長期性預金	548,000	548,000	0
その他固定資産合計	21,754,346	21,231,655	522,691
固定資産合計	373,516,154	371,067,223	2,448,931
資産合計	383,376,819	383,587,180	△ 210,361
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,614,609	5,428,484	△ 1,813,875
預り金	490,566	341,818	148,748
流動負債合計	4,105,175	5,770,302	△ 1,665,127
負債合計	4,105,175	5,770,302	△ 1,665,127
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	151,761,808	149,835,568	1,926,240
指定正味財産合計	151,761,808	149,835,568	1,926,240
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(51,761,808)	(49,835,568)	(1,926,240)
2. 一般正味財産	227,509,836	227,981,310	△ 471,474
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	379,271,644	377,816,878	1,454,766
負債及び正味財産合計	383,376,819	383,587,180	△ 210,361

令和2(2020)年度 正味財産増減計算書

令和2(2020)年4月1日から令和3(2021)年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,308,244	2,308,244	0
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	5,424	5,043	381
特定資産受取利息	5,424	5,043	381
受取会費	438,000	447,000	△ 9,000
受取賛助会費	438,000	447,000	△ 9,000
事業収益	3,707,055	7,549,840	△ 3,842,785
外国人市民の防災支援受託事業収益	407,220	444,840	△ 37,620
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	1,003,035	986,944	16,091
人材育成受託事業収益	382,800	337,425	45,375
外国人市民の図書館利用促進事業収益	0	280,631	△ 280,631
外国人との共生社会環境整備事業収益	1,914,000	5,500,000	△ 3,586,000
受取補助金等	71,297,860	60,797,300	10,500,560
受取北九州市補助金	61,118,000	58,018,000	3,100,000
受取国庫補助金	10,000,000	2,500,000	7,500,000
受取助成金	179,860	279,300	△ 99,440
受取寄付金	3,281,219	5,116,783	△ 1,835,564
受取寄付金	247,459	45,045	202,414
受取寄付金振替額	3,033,760	5,071,738	△ 2,037,978
雑収益	1,491,824	1,202,809	289,015
受取利息	511	240	273
その他雑収益	1,491,311	1,202,569	288,742
経常収益計	82,529,626	77,427,019	5,102,607
(2) 経常費用			
事業費	80,495,140	74,172,953	6,322,187
役員報酬	6,215,817	5,967,330	248,487
給料手当	26,120,923	22,539,286	3,581,637
臨時雇賃金	10,682,055	9,835,792	846,263
福利厚生費	7,490,437	6,773,762	716,675
材料費	41,633	45,732	△ 4,099
奨学金	1,047,620	480,000	567,620
留学生等支援助成金	4,510,000	5,070,000	△ 560,000
旅費交通費	1,108,076	1,858,880	△ 750,804
通信運搬費	2,365,106	1,206,399	1,158,707
減価償却費	412,384	230,401	181,983
消耗什器備品費	2,176,354	1,558,608	617,746
消耗品費	1,984,262	2,806,942	△ 822,680
車両費	77,304	82,797	△ 5,493
印刷製本費	2,506,668	3,381,546	△ 874,878
光熱水料費	1,973,665	1,955,426	18,239
リース料	888,735	513,411	375,324
使用料賃借料	3,471,237	3,645,665	△ 174,428
災害保険料	153,334	145,379	7,955
報償費	3,857,180	2,479,750	1,377,430
租税公課	4,600	20,200	△ 15,600
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	1,746,165	1,144,526	601,639
図書費	508,635	1,427,097	△ 918,462
食糧費	34,666	195,526	△ 160,860
雑費	868,284	558,498	309,786
管理費	2,131,114	2,013,550	117,564
役員報酬	342,148	359,070	△ 16,922
給料手当	174,178	161,761	12,417
福利厚生費	129,459	124,500	4,959
会議費	0	7,068	△ 7,068
旅費交通費	0	5,140	△ 5,140
通信運搬費	13,496	14,354	△ 858
減価償却費	3,583	0	3,583
消耗品費	104,720	6,084	98,636
印刷製本費	24,145	16,806	7,339
光熱水料費	101,099	100,309	790
リース料	44,517	27,021	17,496
使用料賃借料	513,386	527,092	△ 13,706
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	462,000	457,800	4,200
交際費	14,659	31,261	△ 16,602
雑費	193,724	75,284	28,440
経常費用計	82,626,254	76,186,503	6,439,751
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 96,628	1,240,516	△ 1,337,144
投資有価証券評価損益等	△ 414,844	△ 4,800,673	4,385,829
評価損益等計	△ 414,844	△ 4,800,673	4,385,829
当期経常増減額	△ 511,472	△ 3,560,157	3,048,685
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	40,000	40,000	0
受取寄付金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2	0	2
什器備品除却損	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	39,998	40,000	△ 2
当期一般正味財産増減額	△ 471,474	△ 3,520,157	3,048,683
一般正味財産期首残高	227,981,310	231,501,467	△ 3,520,157
一般正味財産期末残高	227,509,836	227,981,310	△ 471,474
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,000,000	5,000,000	0
受取民間寄付金	5,000,000	5,000,000	0
一般正味財産への振替額	△ 3,073,760	△ 5,111,738	2,037,978
一般正味財産への振替額	△ 3,073,760	△ 5,111,738	2,037,978
当期指定正味財産増減額	1,926,240	△ 111,738	2,037,978
指定正味財産期首残高	149,835,568	149,947,306	△ 111,738
指定正味財産期末残高	151,761,808	149,835,568	1,926,240
III 正味財産期末残高	379,271,644	377,816,878	1,454,766

財 産 目 録
令和 3 (2021) 年 3 月 31 日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	88,535		
	預金	普通預金	普通預金	運転資金として	1,382,315	
		福岡銀行八幡支店			1,411,711	
		西日本シティ銀行八幡駅前支店			323,366	
		西日本シティ銀行八幡支店			2,027,620	
		福岡ひびき信用金庫本店営業部			4,650	
		北九州銀行八幡支店			7,300	
		佐賀銀行八幡支店			7,300	
		福岡中央銀行黒崎支店			3,963	
		郵政振替貯金			462,500	
		定期預金	定期預金		450	
		西日本シティ銀行八幡駅前支店			4,096,455	
	福岡銀行八幡支店			44,500		
未収金	北九州市	事業に供する未収分				
前払金	ボランティア活動保険	令和 3 年度分				
流動資産合計				9,860,665		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運用に充てるための資産である。 公益目的保有財産 33.3% 33,300,000 円 収益事業・管理活動財産 66.7% 66,700,000 円	100,000,000	
			第 152 回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に充てることとしている。	50,000,000	
			福岡市平成 28 年度第 6 回公募公債		100,000,000	
	特定資産	留学生等支援基金 積立資産	第 160 回利付国債		50,000,000	
			定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途(留学生に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	1,773,593	
			福岡銀行八幡支店		283,593	
			西日本シティ銀行八幡支店		7,500,000	
			福岡ひびき信用金庫本店営業部		9,500,000	
			佐賀銀行八幡支店		9,500,000	
			福岡中央銀行黒崎支店		9,000,000	
			北九州銀行八幡支店		9,000,000	
			普通預金		766,240	
			福岡銀行八幡支店		1,858,382	
	その他固定資産	外国人材活躍支援 資金積立資産	福岡ひびき信用金庫本店営業部		1,580,000	
			普通預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途(外国人に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	10,000,000	
			福岡銀行八幡支店		1	
		車両運搬具	スバル軽自動車 1 台	公益目的保有財産である。		2,182,845
			ノートパソコン 6 台他	公益目的保有財産 2,127,831 円 管理活動財産 55,014 円		18,927,800
		投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債他	打歩発行により取得した金利未償却残高及び期末時点における時価評価損益である。		95,700
保証金			北九州市	受託事業に係る保証金	548,000	
長期性預金	定期預金		貸借対照表日の翌日から起算して 1 年以上経過した日に満期が到来する定期預金である。			
固定資産合計				373,516,154		
資産合計				383,376,819		
(流動負債)	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	3,614,609		
	預り金	社会保険料他 2 件	令和 2 年度分	490,566		
流動負債合計				4,105,175		
負債合計				4,105,175		
正味財産合計				379,271,644		

令和2(2020)年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）及び同実務指針（平成28年3月22日 平成28年12月22日改正 日本公認会計士協会）に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っている。なお、その他有価証券に係る評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
小計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
※1	44,835,568	0	3,073,760	41,761,808
※2	5,000,000	5,000,000	0	10,000,000
小計	49,835,568	5,000,000	3,073,760	51,761,808
合計	349,835,568	5,000,000	3,073,760	351,761,808

※1 留学生等支援資金積立資産

※2 外国人人材活躍支援資金積立資産

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
小計	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
特定資産				
※1	41,761,808	(41,761,808)	(0)	(0)
※2	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
小計	51,761,808	(51,761,808)	(0)	(0)
合計	351,761,808	(151,761,808)	(200,000,000)	(0)

※1 同上

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	977,855	977,854	1
什器備品	3,446,464	1,263,619	2,182,845
合計	4,424,319	2,241,473	2,182,846

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	61,118,000	61,118,000	0
※1	※1	0	150,000	150,000	0
※2	※2	0	29,860	29,860	0
※3	※3	0	10,000,000	10,000,000	0
合計		0	71,297,860	71,297,860	0

※1 日本語おしゃべり発表会他

公益財団法人西日本国際財団

※2 研修旅費助成

一般財団法人自治体国際化協会

※3 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業助成

文化庁

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業実施による指定解除額	3,033,760
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	40,000
合計	3,073,760

7 その他

(金融商品の状況に関する注記)

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一定部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク及び市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①. 資産運用規程にもとづく取引

金融商品の取扱は、当法人の資産運用規程にもとづき行う。

②. 信用リスクの管理

発行体の状況を調査するなどして、信用リスクが極めて低いと見込まれる債券のみを取得することとしている。

③. 市場リスクの管理

市場リスクを有する有価証券取引は、行なわない方針である。

令和 2(2020)年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載されているので内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

該当なし。